

【2019 年度「卓越研究員事業」】

新潟大学研究推進機構超域学術院助教募集案内

地球気候システムモデリング分野または惑星科学分野

●概要

このたび本学研究推進機構超域学術院において、災害・復興研究の推進を目的とし、地球気候システムモデリング分野または惑星科学分野を担当する助教を公募します。地球温暖化の進行に伴って、生態系の変化、異常気象などこれまで経験したことのないような大規模災害が世界各地で頻発しており、今世紀後半にかけてはさらなる発現が予想されています。このような背景から、地球温暖化問題の根本的な原因や発生機構の解明、異常気象予測と防災にとって最も重要なツールの一つである地球気候システムモデルに関する分野、または地球気候システムモデリング分野と補完的であり、地球環境をより深く理解するために必要な惑星科学分野において、長期にわたって継続的に研究をリードする卓越した若手研究者を求めています。

なお、本公募は文部科学省の2019年度卓越研究員事業による卓越研究員候補者として選考された者を対象とします。本公募に応募を希望する場合は、日本学術振興会が設置・運営する電子申請システムを通じて2019年度卓越研究員事業への申請手続きを忘れずに行ってください（締切：4月24日（水））。（参考：<https://www.jsps.go.jp/j-le/index.html>）

●公募要領

1 募集研究分野および募集人員

新潟大学において将来発展が見込まれる以下の研究分野で計1名を公募します。

募集研究分野	募集人員	
地球気候システムモデリングまたは惑星科学分野	助教	1名

2 所属

所属は新潟大学研究推進機構超域学術院となりますが、研究活動の拠点は関連する自然科学研究科・理学部となります。

3 応募資格

(1) 2019年度文部科学省卓越研究員事業による卓越研究員候補者として選考された者。

(本ポストは卓越研究員を受け入れることを原則とするポストです。本公募に希望する場合は、必ず2019年度卓越研究員事業に申請を行ってください（締切：4月24日（水））、参考：<https://www.jsps.go.jp/j-le/index.html>）

(2) 博士の学位を有すること。博士の学位を取得した者または博士課程に標準修業年限以上在学し、所定の単位を修得の上、退学した者（いわゆる「満期退学者」）。

(3) 募集分野に関連する研究業績を有すること。また当該分野に関連する講義を担当でき、日本語または英語により学生に、分かりやすく教えることができること。

※本学では男女共同参画推進室 (<http://www.niigata-u.ac.jp/geo/>) を設置し、ダイバーシティ推進の視点に立った教育・研究・就業環境の整備を推進しております。教員公募においても女性及び海外研究者の応募を歓迎し、研究業績が同等であれば積極的に採用します。

4 研究環境

採用されたテニユアトラック教員には文部科学省卓越研究員事業の規定により、スタートアップ支援経費が1~2年度目に限り600万円/年を上限として配分される他、研究スペース(教員の居室を含む)が無償で提供されます。

5 職務

- (1) 地球気候システムモデリングまたは惑星科学分野に於ける研究・教育を行うこと。
- (2) 担当分野に関わる研究に精力的に取り組み、卓越した研究成果を国内外に発信すること。
- (3) 科学研究費助成事業などの外部資金獲得に積極的に取り組むこと。

なお、エフォート率70%以上の研究時間がテニユア取得までの期間保障され、大学の管理・運営に関する業務は原則として免除されます。ただし、研究分野に関連する学部・大学院の科目担当をお願いすることがあります。

6 雇用条件

- (1) 給与等 月給制(国立大学法人新潟大学職員給与規程による)

- (2) 任期 2019年11月1日(予定)~2024年3月31日

※テニユア審査については、下記「8 テニユアポストへの登用」にあるとおりです。

※2022年4月1日より、自然科学系教員ポスト(自然科学系テニユアトラック教員)へ移行します。

※2019年度中に着任できることが必須であり、研究経費の計画的執行の観点からも、できるだけ早い時期が望ましい。

7 勤務条件

- (1) 勤務場所は、新潟大学自然科学系(五十嵐キャンパス)となります。
- (2) 就業に当たっては、新潟大学の諸規則を適用します。
- (3) 知的財産権は、国立大学法人新潟大学職務発明規程に基づき、本学の所有となります。

8 テニユアポストへの登用

テニユア取得後には、自然科学系(理学部)において、テニユアポストを用意してありますので、優れた業績を挙げた者は、任期の定めのない、あるいは再任回数のない常勤の職に採用されます。2019年度~2023年度をテニユアトラック期間とし、2021年度に研究推進機構超域大学院で中間評価を受けた後、2022年度に自然科学系のテニユアトラック教員に移行して、自然科学系において2023年度までにテニユア審査を実施します。なお、評価の基準は、テニユアトラック期間中の「研究活動実績」、「国際活動実績」、「マネジメント能力」、「教育活動実績」、「本学・部局等への貢献」とし、これらを考慮して総合的に評価を行います。

9 提出書類

- (1) 履歴書（様式1）
- (2) 研究業績書（様式2）
 - (ア) 学位論文，著書，学術論文（レフリー付き論文のみ），総説，報告書（レフリー無しの論文を含む），国際会議発表論文（招待論文がある場合には明記のこと）および最近5年間の学会発表（口頭・ポスター別）に区分して記述する。インパクトファクターのある雑誌には*印をつける。
 - (イ) 主要な学術論文（5編以内）の別刷（コピーでも可）を添付する。
- (3) 科研費のこれまでの獲得状況，それ以外の競争的資金，受託研究費などの最近5年間の獲得状況について，それらの種目・種類，題目，研究代表者名，金額（分担の場合は分担額）および研究期間をまとめたリスト，ならびに特許・実用新案（出願中も含む）等を記したリスト（任意様式）
- (4) これまでの研究概要および採用された場合の研究や教育の抱負について，それぞれ2000字程度にまとめたもの（任意様式）
- (5) 研究計画調書（様式3）（本学に採用された場合の5年度間の研究計画について図を含め，10.5ポイントの文字でA4判用紙5枚以内で作成。併せて，着任可能時期についても明記すること）。
- (6) 研究費使用計画（「4 研究環境」に記載の配分予定額をもとに，備品費，消耗品費，旅費，その他に分け，主な支出内訳を明記して，使途予定を表（任意様式，A4判用紙1枚）としてまとめること）
- (7) 応募者について照会可能な方2名の連絡先（氏名，所属，電話，電子メールアドレス）

10 応募方法

「提出書類」の(1)～(7)の書類をそれぞれPDFファイルにしたものを電子メールに添付の上，「12 問い合わせ先および提出先」に記載の提出先にお送りください。その際，メールの件名に応募研究分野が判るように「卓越研究員事業（地球気候システムモデリングまたは惑星科学分野応募）」と明記してください。容量の関係で送付できない場合は，メールの件名に1/2，2/2等と記載し，分割して送付ください。（応募後，平日において，翌日までに受理通知が届かない場合は，お問い合わせください。）

なお，別途郵送による提出は不要です。

応募に関する秘密は厳守します。また，応募いただいた個人情報は，個人情報保護法ならびに本学規定に基づいて適切に取り扱いますが，選考上必要な範囲において照会等を行う場合がありますので，ご了承ください。

11 選考スケジュール

- (1) 卓越研究員事業への応募締切：2019年4月24日（水）17：00 必着（日本時間）
- (2) 新潟大学への応募締切：2019年8月8日（木）17:00 必着（日本時間）
- (3) 選考方法：書類選考による1次審査を行い，1次審査通過者へは面接（プレゼンテーションを含む）による2次審査を行います。審査は，本学にて8月下旬頃の実施を予定しています。
- (4) 選考結果：決定次第，本人宛通知します。
- (5) 着任時期：2019年11月1日（予定）

1 2 問い合わせ先および提出先（メールにてお願いします）

【研究分野の問い合わせ】

新潟大学自然科学系（理学部理学科） 教授 副島浩一

E-mail: soejima@env.sc.niigata-u.ac.jp

【提出先・その他応募に関する問い合わせ】

新潟大学研究企画推進部研究推進課研究施設係

TEL 025-262-5416, FAX 025-262-5645

E-mail: kenkyushien@adm.niigata-u.ac.jp

〒950-2181 新潟県新潟市西区五十嵐2の町 8050

1 3 その他

新潟大学研究推進機構超域学術院，理学部については，それぞれのホームページを参照してください。

新潟大学研究推進機構超域学術院

<https://www.niigata-u.ac.jp/transdiscipline/>

新潟大学理学部

<https://www.sc.niigata-u.ac.jp/sc/>